

東日本大震災 被害状況調査(福島県内)結果

1.図書館名	3.状況項目									4.復旧状況
	(1)利用状況(3月11日当日)		1)人的被害	(2)被害状況					2)物的被害	
	a.開館の有無	b.入館者の有無		a.図書・資料の落下	b.書架の倒壊	c.施設・設備 (建物本体に附属する)	d.機器・備品	e.その他		
1 会津大学情報センター附属図書館	あり	あり 入館者数:104人	なし	①ほとんど	③少し 低書架のほとんどが倒れ、寄贈資料室の書棚の形が大きくゆがんでしまった	③少し破損	③少し破損 閉架電動書架が地震のため動いて棚がずれ、資料が落ち、一部配線がはずれてしまうなどした。	-	低書架をすべて元に戻し、閉架電動書架は直してもらったが、寄贈資料室の書棚は現在も当時のままとっている。	
2 会津若松市立会津図書館	なし	-	なし	④少し 落下冊数:蔵書数の1割程度(AV資料含む)	④なし	④なし	④なし	-	-	
3 喜多方市立図書館	あり	あり	なし	④少し 落下冊数:約400冊(開架・書庫を含む)	③少し 2階第1閲覧室の書架2台が倒壊	②やや破損(亀裂等) 窓ガラス3箇所へ亀裂が入る。また、館内の側面、床面に無数の亀裂が入る。	④なし ※書架以外は破損なし	-	12日のみ臨時休館として、その後は通常開館。	
4 会津大学短期大学部附属図書館	あり	あり 入館者数:61名	なし	③半数以下 落下冊数:約17,000冊(館内配架図書約24%) ※被害状況詳細については別紙参照	③少し 転倒5箇所	③少し破損 一部壁面に亀裂が生じた	③少し破損 雑誌架の扉が破損した	一部の書架が移動(5cm程度)したり、歪んだりした。	・平常開館 臨時休館:3月14日。開架書庫への入庫制限:3月18日まで。 ・4月16~17日に閲覧室、9月9日に開架書庫の耐震工事を行った。	
5 福島県立図書館	あり	あり 入館者数:320人	あり 落下物による軽傷者1名	①ほとんど 落下冊数:約800,00冊	④なし	①かなり破損 空調吹き出し口の金属部品の落下、ガラス面の破損、建物内での段差の発生、軒天井の落下	③少し破損 電動書架が多数、不稼働に	-	7月15日より建物内の安全の確保できた部分に限定して、仮開館。 現在、資料は全て利用可能。本格開館は復旧工事完了後の予定。	
6 福島県立医科大学附属学術情報センター	あり	あり 入館者数:利用者延総数216名	なし	③半数以下	④なし	④なし	④なし	-	3月17日までに落下資料の整理終了。学内利用者については、18日から通常業務開始(対外的には4月末日まで休館)	
福島大学附属図書館	なし(作業による臨時閉館)	なし	なし	③半数以下 (図書約143,000冊、雑誌約8,000冊、その他約900点)	④なし	②やや破損(亀裂等) (天井、壁のひび、タイルの落下、点検口の落下)	②やや破損(亀裂等) (電動周密書架の不具合)	-	平日:9:00~21:00開館、土曜日10:00~17:00開館、日曜日:11:00~15:00開館(12月から)(震災前より短縮) 施設、設備は概ね修理、貴重図書を年度内に修理製本	
7 奥羽大学図書館	あり	あり	なし	③半数以下 落下冊数:図書の約30%(内水濡れ2.5%、新着雑誌はすべて)	②半数以下 書架倒壊は2箇所、傾きはすべてありスチール雑誌架はすべて転倒	②やや破損(亀裂等) 壁・柱の亀裂、水道管破裂、外壁の一部落下、浄化槽破損 他	③少し破損 パソコン1台破損、スチールキャビネット	-	すべてのスチール固定書架の入替え及び図書の再配架、電動書架の破損・歪み不具合修理、スチール雑誌架の補修・固定を行った。	

東日本大震災 被害状況調査(福島県内)結果

1.図書館名	3.状況項目								4.復旧状況
	(1)利用状況(3月11日当日)		(2)被害状況						
	a.開館の有無	b.入館者の有無	1)人的被害	2)物的被害					
			a.図書・資料の落下	b.書架の倒壊	c.施設・設備	d.機器・備品	e.その他		
8 小野町ふるさと文化の館・図書館	あり	あり 入館者数:20名	なし	④少し 落下冊数:約15,000冊	③少し 書庫のスチール書棚(簡易なもの)1台)	②やや破損(亀裂等) 図書館部分でなく、郷土史料館の通路部分での亀裂・沈下あり	④なし	-	書籍の落下の復旧はすぐに終わり、図書館は復旧完了しています。郷土史料館の通路に関しては、12月から工事が入る予定。
9 日本大学工学部図書館	あり	あり 入館者数:122名	なし	①ほとんど 落下冊数:約270,000冊	③少し 修理可能	①かなり破損 壁の落下・亀裂、外壁タイルの飛出し、建具のゆがみ	②やや破損 ロッカー等転倒により破損	-	開館を5月開校式に合わせ、復旧につとめる。8月～10月休館とし、建物耐震工事(震災前に予定)をする。11月1日の震災前の平常開館とする。
10 福島学院大学図書館情報センター	あり	あり 地震が起こったその時の入館者数は3人	なし	①ほとんど 落下冊数約60,000冊	②半数以下 完全に倒れたもの、斜めになったもの等いろいろな形の被害があったが、職員が自分たちで修理したり、業者に依頼したりして修復して元通りに使っている。	②やや破損(亀裂等) 閲覧室の壁に亀裂が入り、天井から建築材(カス)が落下した。また倒れた書架が壁にぶつかって壁が凹んだ。	②やや破損 利用者のインターネット検索用パソコンがテーブルから落下、モニターが壊れ、LANケーブルが使えなくなった(1台) またDVD、CD等視聴覚資料もかなり落下し、壊れてしまつて視聴できなくなったものが少しある。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の本館が倒壊したため、本館地下から図書館につなぐ光回線ケーブルが使えなくなり、図書館コンピュータシステムが完全に使用不能になり、駅前キャンパスとのネットワークも稼働できなくなった。 ・倒壊した本館にあった教員研究室から救出できなかった蔵書もあり、点検を行って不明数が判明した。救出された蔵書の中には、ほこりがついて汚れたり、水にぬれたりするものがあり、今後の扱い方に悩んでいる状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①落下した本は教職員や学生の協力で全部書架に戻し、NDC再分類も完了した。 ②書架やパソコン等機器備品も修繕して使えるようになった。 ③光回線ケーブルはNTTさんのご協力で別ルートから光回線を仮に引っ張ってきたので、インターネット接続等図書館コンピュータシステムが再稼働できるようになった。 ④駅前キャンパス図書室は6階にあり、余震が続く中、図書が再び落下しないようにビニールテープを使って書架の上段を括っている。 ⑤倒壊した本館の研究室から移管された蔵書の移管手続き作業は継続中である。 ⑥倒れた書架がぶつかって凹んだ壁の修復も完了した。
11 須賀川市図書館	あり	あり 入館者数:153名	なし	①ほとんど 落下冊数:約130,000冊(9割強)	②半数以下 倒壊数:約50架	②やや破損(亀裂等) 外壁、天井、内壁、床、ガラス、電灯設備、空調設備等	③少し破損	-	4月5日から開館
12 郡山市中央図書館	あり	あり 入館者数不明	なし	①ほとんど 落下冊数は不明	②半数以下 2階部分の書架はすべて破損	①かなり破損 外壁亀裂、正面玄関地盤亀裂、避難橋土台破損、受水槽破損、視聴覚ホール設備破損	③少し破損	-	現在復旧工事中 平成24年3月開館予定
13 桜の聖母短期大学図書館情報センター	あり	あり 入館者数:19名	なし	④少し 落下冊数約50,000冊	④なし	③少し破損 壁のひび数箇所	③少し破損 集密書架一基破損、CD-ROM用パソコン破損、蛍光灯一基破損、司書室キャビネット落下	-	ほとんど復旧した。破損本数冊まだ直していない。

東日本大震災 被害状況調査(福島県内)結果

1.図書館名	3.状況項目								4.復旧状況
	(1)利用状況(3月11日当日)		(2)被害状況						
	a.開館の有無	b.入館者の有無	1)人的被害	2)物的被害					
			a.図書・資料の落下	b.書架の倒壊	c.施設・設備	d.機器・備品	e.その他		
14 矢吹町図書館	あり	あり 入館者数:8人	なし	①ほとんど 落下冊数約50,000冊	②半数以下 倒壊数 閉架書庫: 可動棚5台、開架:2 4台	①かなり破損 建物周辺の陥没、建物の 壁に亀裂、蛍光灯及び器 具の落下、換気扇の落下、 トイレの水道管破損	③少し破損 書類棚 2台	-	建物周辺の陥没、建物の亀裂以 外は復旧。
15 二本松市立二本 松図書館	あり	あり 入館者数:54名	なし	④少し 落下冊数約400冊	なし	②やや破損(亀裂等) 照明器具の枠がずれ、落 下の危険が生じた。(3箇 所)	④なし	敷地内側溝、階段、縁石の 継ぎ目等に亀裂が入った。	一部の照明器具の補修箇所につ いては、3月末までに完了し、施 設内に一部亀裂の入った箇所は あるが、一時臨時休館(3日間、 新聞・インターネットの閲覧は連 日開放)後、4月中旬まで毎日開 館、その後は通常どおり開館して いる。
16 郡山女子大学図 書館	あり	あり 入館者数:5名	なし	①ほとんど 落下冊数約100,000冊	②半数以下 倒壊数:約10本	②やや破損(亀裂等) 図書館棟1階の床が隆起	③少し破損 閲覧机、記載台等に傷。ロッ カー破損。	-	閲覧室・開架・事務室は復旧。倒 壊した開架の書架は新たに購 入。 閉架書庫は復旧途上。閉架書庫 の一部の床の工事を予定。
17 鏡石町図書館	あり	あり 入館者数:20名	なし	①ほとんど 落下冊数: 図書約60,000冊 視聴覚資料約2,000点	③少し 4か所	①かなり破損 上下水道設備破損、可動 式書庫破損、書庫壁破損	②かなり破損 2階視聴覚ホール内スポットライト、 スライディングウォール、電動式移 動観覧席、音響設備破損	建物周囲インターロッキングブロック 舗装陥没(現在工事中)、燃 料庫・受電設備一部傾斜 (設備は使用可能)	上下水道設備復旧(トイレ・水道 使用可能、冷暖房使用可能) 開館時間(通常:9:00~19:00)を1 時間短縮して開館中(9:00~ 18:00) 館内1階部分は通常利用可能 (但し、2階は使用不可)
18 福島市立図書館	あり	あり 入館者数:416名	なし	②半数以上 落下冊数約250,000冊	②半数以下 倒壊数:5台	②やや破損(亀裂等) 内壁に亀裂、窓ガラスの破 損	④なし	-	通常開館
19 南相馬市立中央 図書館	あり	あり 入館者数:611名	なし	④少し 3月12日に落下資料す べて復旧	④なし	④なし	④なし	-	平成23年8月9日 南相馬市立 中央図書館再開 平成23年12月6日 南相馬市 立鹿島図書館再開予定 南相馬市立小高図書館は、警戒 区域内のため休館中
20 新地町図書館	あり	あり 入館者数:20名	なし	①ほとんど 落下冊数:83,000冊	④なし	②やや破損(亀裂等) 鉄骨梁受けコンクリート破 損、南面ガラス破損、柱ひ び割れ、内・外壁ひび割れ 等	②やや破損 空調用ダクトはずれ、閉架書 庫開閉装置故障、自家発電 機・キュービクル水没、照明 器具落下、書架アンカーはず れ、雑誌架傾き損傷等	外 構・・・北側駐車場アス ファルト舗装陥没、オイルタ ンクコンクリート躯体一部破 損等	現在は施設内の視聴覚室におい て臨時図書館を開館中。今年度 中の完全復旧を目指し、国の災 害査定及び実施設計等の調整 中。

東日本大震災 被害状況調査(福島県内)結果

1.図書館名	3.状況項目								4.復旧状況
	(1)利用状況(3月11日当日)		(2)被害状況						
	a.開館の有無	b.入館者の有無	1)人的被害	2)物的被害					
			a.図書・資料の落下	b.書架の倒壊	c.施設・設備	d.機器・備品	e.その他		
21 相馬市図書館	あり	あり 入館者数:約20名	なし	③半数以下 落下冊数: 開架約20,000冊 閉架約6300冊	②半数以下 倒壊数9台転倒 (うち5台使用不能)	④なし	④なし	-	4月16日開館、7月1日より通常業務へ。 (4月13日移動式書庫1台、7月31日書架12台設置)
22 いわき市立いわき総合図書館	あり	あり 入館者数:約280名	なし	①ほとんど	③少し	①かなり破損 ・天井吊り下げ式の照明設備が落下及び損壊。 ・壁面・天井等の一部が損壊。 ・自動出納書庫内の天井照明設備が一部落下。コンテナの落下・飛び出し及び自動出納書庫ラックに歪み発生・ラックアンカーボルトのゆるみ。壁面ボードが一部落下。空調ダクトが壁面から乖離。 ・電動書庫が作動不能。	②やや破損 ・パンフレット架倒壊。 ・館内サインの落下による損壊。	スプリンクラーの作動により図書資料の一部が水濡れ。	・通常開館 ・館内照明設備の撤去・復旧工事(吊り下げ式から天井直付け式に)、自動出納書庫等の調整作業、館内壁・天井等の補修を経て、正常作動中。 ・書架に、安心安全シート(滑り止めシート)の導入(郷土資料)
23 いわき明星大学図書館	あり	あり 入館者数:約18名 (うち1名書庫)	なし	③半数以下 落下冊数:22,384冊 (蔵書の1割弱)	④なし	④なし	④なし	図書館ではありませんが↓ 図書館隣接の学習センター1階天井裏エアコンの排水ダクトから水漏れ、学習センター3階天井ボード一部破損	4月1日から館内片付け作業を開始し開架の再配架に1週間、書庫は8日間を要しました。地域の水道復旧に日数を要したため再開館が遅れ、4月25日から通常開館しました。落下した本の修理は通常業務と並行して対応し5月後半に完了しました。
24 東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	あり	あり 入館者数:10名	なし	④少し 落下冊数:約1,000冊	④なし	③少し破損 壁のひび割れ。ガラス窓枠(ゴム)の破損。	④なし	震災以降4月末まで臨時閉館。	通常開館
25 福島工業高等専門学校図書館	あり	あり 入館者数:4名	なし	③半数以下 落下冊数:約20,000冊	④なし	②やや破損(亀裂等) 建物を支える壁について、壁全体にわたる亀裂が生じた。 また、空調パイプのカバーにつなぎ目に亀裂が生じた。	②やや破損 時計が落下し破損。サーバーが数度の停電により故障。	壁側の書架について、耐震補強用のL字型金具が外れてしまった所が7割程度あった。また、図書事務室内について、耐震補強をしていない古い棚が倒れ、扉の閉め方が不完全な棚については物品が飛び出してきた。	・壁側の片面書架についてはL字型金具・アンカーで壁に固定し、並列の両面書架については上部を金属部品で連結させ、耐震補強対策を強化した。 ・今年度は、開館時間を短縮している。 月～金 (震災前)8:30～20:00 (震災後)8:30～19:00 土曜日 (震災前)9:00～16:00 (震災後)休館